

平成 28 年度植物友の会活動記録

平井健一郎

はじめに

植物友の会は、植物に興味を持つ一般から募集した人達の集まりで、植物公園を活動の場として植物愛好者が集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを目的に、昭和 54 年 10 月に設立された会である。

会費は、個人会員が年額 2,000 円、家族会員が年額 3,000 円、企業等の賛助会員が年額 5,000 円となっている。平成 15 年度からは 10 月 1 日以降に入会の場合は、年会費を半額にする規定を設けていて(賛助会員は除く)、今年度 10 月以降の入会は個人会員 1 人であった。

平成 29 年 1 月現在、会員数は個人会員が 107(△6) 人、家族会員が 15 組 38 人(△11)、企業等の賛助会員が 8 団体である。() 内は昨年度同月からの増減会員数、△は減。

活動(表 1・2・3)

当年度の友の会事業執行報告を表 1 に記す。年間計画は従来、会誌『はなの輪』の 1 ページとして掲載していたが、2012(平成 24) 年度から参加を促すことや参加希望者の失念を防ぐ対策として、各家庭で掲示しやすいよう印刷機で印刷することができる最大の B4 版の一枚もの(両面印刷)として発送している。今年度も「はなの輪」の原稿として組み入れず、B4 版クリーム色紙に別紙として印刷した。

一方、「3 園共通パスポート」(植物公園ほか 2 園年間 1,500 円) が新たに発行され(2007(平成 19) 年 8 月 1 日～)、友の会への入会特典のひとつである「友の会関連行事開催時入園料無料」と拮抗することから、友の会入会へ少なからず影響を及ぼしていると考えられる。そこで、2011(平成 23) 年度に例会時開催した定例運営委員会での次年度の事業計画検討時、植物友の会運営委員から植物友の会の利点・魅力をより高めるために、友の会管理ボランティアとガイドボランティアらの有志から(後のボランティアグループ「チーム花さんぽ」)が 1 カ月に 2 回第 2 火曜日と第 4 土曜日に行う「季節の花さんぽ」を友の会講習会として取り込み、友

の会特典として会員証提示で無料入園することができる日を増やす提案がなされ、2012(平成 24) 年度から友の会行事のない偶数月の下旬のみ、2013(平成 25) 年度からは全ての「花さんぽ」を年間計画に講習会として取り込んでいる。これに伴い、例年 4 月下旬、5 月に開催する第 1 回例会通知と共に会員証を送付してきたが、『季節の花さんぽ』4 月第 2 週開催日までに届けることが必要となったため、会員証、友の会会則(新入会員のみ)、講習会「季節の花さんぽ」開催のお知らせ/季節の花さんぽ実施計画(両面印刷)、平成 28 年度事業計画(B4 グリーン色紙両面印刷)と共に、対象者には管理ボランティア登録証(売改札での未受取会員分のみ)、さらに直前に迫っている例会通知等も併せて 4 月 1 日全会員に送付した。

(1) 例会・運営委員会

2 ヶ月に 1 回、植物公園で開催する。毎例会の開催(13:20～)前 11:30 から運営委員会を開催し、当該例会での連絡事項・内容について打ち合わせを行い、それらの決定事項を盛り込んだプログラムを作成・印刷・頒布した。例会後にはイベントに参加した結果報告、次回例会内容に加え、今後開催予定の事業内容の確認などについて毎回検討・協議した。

各例会では、はじめに事務連絡として申し込み締め切り間近な観察会や講習会、管理ボランティアへの参加呼びかけを伝えた。それに続き、野外観察会報告・園芸作業・園内観察などを主題の内容とした。園内観察については見どころ案内や花ごよみ、近日または午前中園内を下見した運営委員より助言を受け、コースを検討した。案内は花さんぽの講師を務めるチーム花さんぽのメンバーやガイドボランティアを兼任する運営委員も多く、観察場所に適任と思われる運営委員が務めた。



写真 1 栽培・展示課より余剰種苗分譲

第1回例会（5月5日開催）では、園内も見どころ満載の時期を迎えていること、新入会員に植物公園の魅力的な場所を紹介するいい機会であることから、プログラム内容は、事務連絡後ここ数年園内観察会としている。今年度初めの例会につき、中島保廣会長のあいさつ、山草部会ロビー展開催中の案内に加え、春の野外観察会の参加が奮わないことから、更なる募集を呼びかけた。そして栽培・展示課よりサクラソウ株分に伴う余剰株分譲の申し出もあり、例会参加会員に分譲した（写真1）。その後、丁度見頃となっている園内をバラ園コースと健脚向きの樹林観察園コースの2班に分け、案内した。

第2回例会（7月10日開催）においては、事務連絡として講習会「アジサイ‘アナベル’ドライフラワーボール制作」、秋の野外観察会、講習会「季節の花さんぽ」への参加を呼びかけ、「友の会作品展」への出品も促した。主題である「春の野外観察会報告」を事務局より執り行った。その後続く園芸作業では毎度温室植物/屋外植物を選択の上、会場を区切って開催していたが、例会に参加する会員の満足度を向上させるため、事前に講師を務める栽培・展示課の職員と連絡・調整を行い、温室植物「木立性ペゴニアの育て方」、屋外植物「夏の作業できれいなトマト」をいずれも聴講できるようにした（写真2）。

第3回例会（9月25日開催）では冒頭の事務連絡での友の会作品展の出品状況報告に続き、既に参加案内を送付し、申し込みを受け付けていた第2回野外観察会催行取り止めに伝え（詳細は「野外観察会」の項にて後述）、第3回野外観察会・季節の花さんぽ・第2回講習会「竹製コンテナの寄せ植え」への参加を促した。第2回講習会（11月22日（火）開催予定）への参加募集に際し、例会に先立ち運営委員らが中心となって試作した竹のコンテナを会場に提示し、例会当日から受け付けた。当該例会の主題となる園芸作業は第2回例会と同様、温室/屋外植物いずれも聴講できるようにし、それに続きロックガーデン～ハギ園～展望塔に掛けて運営委員を講師として園内観察を行った。例会終了後15:30～友の会作品展の撤去を出品した会員により行った。

第4回例会（11月13日開催）では冒頭で中島会長より、11月3日（木・祝）開園記念日に授

与された「40周年永年表彰」について、表彰状を掲げながら参加会員に報告した。続く事務連絡で、第2回野外観察会の催行取りやめと第3回野外観察会の参加案内を伝えた。第2回野外観察会取り止めについては、前例会時も伝えているが、周知と確認のために再度伝えることとした。今回主題の園芸作業では温室/屋外植物を講堂で説明した後、引き続きロックガーデンで見頃となっているシマカンギクの説明を行った。

続く園内観察は、おのずとロックガーデン（シクラメン ヘデリフォリウム）発となり展望塔（ニッサ、オオモクゲンジ）～イベント広場（皇帝ダリア、スズランノキ）～カスケード（スズランノキ）と、見頃の植物を網羅して観察した。



写真 2-1 園芸作業（温室） 写真 2-2 園芸作業（屋外）



写真 3 西澤主任技師による大温室改修工事進捗状況報告

第5回例会（平成27年1月8日開催）では、栽培・展示課西澤主任技師より「大温室改修工事進捗状況報告」と題し一年前の移植工から伐採、現在の状況についてパワーポイントにより講演した（写真3）。続いて、事務局から特別企画展の観察会（11月19日（土）開催）よりも先行して11月17日（木）開催した第3回観察会の報告を事務局が行った。第3回野外観察会で宮島を取り上げるのは2回目で、この度は友の会オリジナルコースを採用したこともあり、ルートや観察できた植物について、より詳細に報告

するようにしたため、予定の時間より15分超過した。今例会の最後のプログラムである園内観察は花盛りのサボテン温室と芝生広場、日本庭園と見頃となる場所が離れていることから、運営委員会で希望する参加会員の多い場所へ行こう、と事務局が提案し、運営委員も了承していた。ところが、例会時サボテン温室とロックガーデン～日本庭園の屋外の参加を希望する会員が拮抗したことから、急遽2班編成し、会員それぞれが希望するコースへ参加した(写真4、5)。



写真4 第5回例会1月8日時園内観察会

(2) 講習会

9月の例会前に開催する友の会作品展への多数の出品を促すため、例年8月に講習会を開催している。昨年度の運営委員会で講習会作品は1回目分については友の会作品展に供することができるが、残り1回の第2回講習会で制作した作品は展示とは全く関係なく、制作後は持ち帰られることにした。

第1回「アジサイ アナベルのドライフラワーボール制作」(8月23日(火)開催)では、運営委員会で講師を務める藤井副会長から事前に採



写真5 園内観察会～ロックガーデン～日本庭園～展望塔～芝生広場

花しておき、参加者は加工から取り掛かるものと想定されていたが、参加者に採花から取り組んでもらうよう事務局から進言した。講師を務めた藤井副会長は前夜～今朝に掛けドライフラワーを固定する針金の骨組み作りに徹夜で制作された、と聞く。栽培・展示課に日本庭園のアナベルを材料にすることで事前に了承をもらい、参加者らは日本庭園で採花後展示資料館講堂に持ち込み、藤井会員の制作した針金の骨組みに固定した(写真6)。参加者は採花から加工、制



写真6 アジサイをボウル様に加工した骨格に組んでいきます

作まで一連の工程を体験していただいた。友の会作品展まで展示資料館2階の手すりにぶら下げ乾燥させ(写真7)、展示に供した。展示会で



写真7 アジサイのドライフラワーボール乾燥中

は展示台に置く、あるいは壁に掛ける出品物が多い中、空中にぶら下げ、異質な空間を演出することができた。

第2回「竹製プランターの寄せ植え」(11月22日(火)開催)では、9月6日(火)管理ボランティア活動日に運営委員を中心に10名で試作品を制作した(写真8)。竹の切り出し作業を、



写真8 竹を切り出しコンテナに加工します

講習会開催の前週の管理ボランティア作業日11月15日(火)に、12名が取り組んだ(写真9)いままでの講習会では、円滑な講習会とすべく講師を務める会員1人が必要な材料ほか全て準備するなど負担がかかる傾向にあったが、今回は会員が相互に協力し事業を進めている姿を見ることができた。寄せ植え制作への参加者は8名で、講師の藤井会員の準備した球根や草花を植え込んだ(写真10、11、12)。

講習会「花さんぽ」(写真13)の参加者は事業執行報告(表1)のとおり。

(3) 観察会

例年年2回春と秋に、広島大学の教授を講師として迎え、日帰り近郊の野山の観察を実施。

野外観察会が友の会入会の動機が多いことから、会員の満足度アップのため平成23年度からは現地集合・解散する第3回野外観察会を開催している。

今年度の野外観察会は岡山県真庭市の日本の名瀑百選にも選ばれた『神庭の滝』とし、広島大学大学院理学研究科山口富美夫教授を講師に迎え、催行した。天候は生憎の小雨模様であったが、立派な無料休憩所があり、当会が占有できたため、昼食には困らなかった。観察は傘あるいは合羽を着用しての不自由なものであったが、ケグワ、フサザクラ、カツラ、カナクギノキ、ツルアジサイ、イワガラミ、マムシグサ、ムサシアブミなど石灰岩地帯の溪畔林に特徴的な植物が観察でき、参加者のアンケートから遠方にも関わらず満足いただけたようだった(写真14)。

秋の観察会の準備を進めている中で、催行が困難となる状況が発生したため、9月の第3回例会前日までに事務局で検討した結果、打開することが困難と判断し第2回野外観察会は中止することとした。翌例会時、例会参加会員に中止となった経緯を説明し、お申し込みいただいた返信用はがきについては、次年度野外観察会が催行可能となった折、次年度の野外観察会参加申し込みは官製はがきで受け付け、返信用には



写真9 竹製コンテナの製作



写真10 竹製コンテナの加工



写真11 竹製コンテナに球根を植え付け



写真12-1 第2回講習会 竹コンテナ出来あがり 1



写真12-2 第2回講習会 竹コンテナ出来あがり 2



写真13 季節の花さんぽ7月12日開催

当該返信はがきを充当する旨、説明した。また、当該例会に出席されなかった野外観察会参加申し込み受付済会員へは電話にて連絡し、了承いただいた。

平成22年度に実施したアンケート調査から、野外観察会が友の会入会の動機である会員が回答会員の18%と多かった(栽培記録第32号 平



写真14 春の野外観察会(5月29日)

成23年3月)ことから、現地集合・解散・事前申し込み不要で気軽に参加できる観察会として第3回を平成23年度から開催(第1回は宮島を環境省宮島地区パークボランティア6名により解説)している。第3回は毎度現地集合・解散、講師も謝礼の支払いが不要な友の会会員や事務局、現地ボランティアとし、経費を最小限に抑えて開催してきた。平成28年度は、当園の特別企画展関連イベントで計画されていた「宮島植物探訪会」に倣って「宮島植物探訪～友の会オリジナルコース」とした。事前に、秋の観察会参加希望者へ先述の中止となった旨を連絡した後日、「代替の観察会はないのか？」問い合わせを受けていた。第2回野外観察会を中止としたことで、講師謝礼に余裕ができたことから、講師を広島大学理学部付属宮島自然植物実験所の坪田博美准教授に依頼したところ、快諾いただいた。参加会員を増やすべく、催行日時を特別

企画展観察会より先行して催行し、集合時間を遅く設定(宮島栈橋前10:00⇔特別企画展では大元公園に9:00)した。しかし講師の坪田准教授から、特別企画展と同様のコースだと時間不足、とのことから、別コースを提案いただき、事務局は了承した。

観察会当日は天候もよく、紅葉も見頃であった。コースは紅葉谷公園～博奕尾～包ヶ浦で、第3回として初めて開催した宮島地区パークボランティアを講師に迎えた観察会(平成23年12月開催)と全く異なり、係としても知見のない初めてのコースであった(写真15)。



写真15 宮島植物探訪～友の会オリジナルコース(11月17日開催)

第5回例会時開催した運営委員会で、次年度の事業計画を検討する中で、当面は、現地・集合として「徹底的に宮島」としてはどうか、との意見も聞かれた。

(4) 展示会

年1回秋に、会員が普段取り組んでおられる鉢物(山草部会員等)や写真、草木染めや木の実のクラフトなどを出品していただき、友の会作品展として開催している。今年度は山草部会を中心に草花、植物に留まらず昆虫も被写体としてマクロな視点で捉えた写真や園内で取り貯めた写真、木の実で作ったクラフト、草木染、薬用酒など多彩な作品が出品された(写真16)。

昨年度、特別企画展の展示期間がずれ込んだため、月末の展示となり、例会も通常奇数月の第二日曜日に開催してきたが、最終日曜日9/27(日)に開催した。今年度も9月下旬開催を要望し、組み入れられた。これが功を奏し、山草部会員からも夏ばてした山野草も多くが開花し、



写真16 友の会作品展 (9月17日(土)～25日(日))
 展示に供することができた、との声がかれた。例会も展示会最終日の9/25(日)に開催することとし、例会終了後、展示撤去・搬出した。出品した会員を中心に会員のみで積極的に撤去に取り組まれた。

(5) 園内ボランティア (表3)

管理ボランティア立ち上げ時は、植物公園職員の補助として活動することを想定していたが、栽培課(当時)より「管理ボランティアの作業



写真17 ベゴニア温室前花壇の管理 (4月19日)



写真18 カスケードの現場でハンギングバスケット制作 (11月15日)

を定期的に行っていただくことに対し、毎回確実に対応するのは困難である」との声を受け、藤井友の会副会長が主導し、第1・第3火曜日を定期的な活動日として『友の会花壇管理』を主活動とし、栽培・展示課から要請があった場合(写真17、18)のみ、そちらの作業に従事することとしている。今年度は「サクラソウ展」「カスケードのハンギングバスケット制作」「クリスマス飾るフラワー展」「ベゴニア温室周りのコンテナ植え付け作業」に御協力いただいた。また、11月15日の活動日には第2回講習会の竹製コンテナの材料切り出しと、カスケードでのハンギングバスケット制作/ベゴニア温室周りコンテナ植え付けと2班に分かれ、盛況であった。

クラフト製作については例年同様に、普段から時間があるときは園内のクラフト材料の採取に努め、小学校自然体験学習や秋のグリーンフェア(以下G.F.)や開園記念日等のイベントでの友の会コーナーにおけるクラフト講習会に備え、本年も小学校の自然体験学習として木の実を使ったクラフト作り(松ぼっくりを使った毛糸の羊やクリスマスツリー)を制作・指導(写真19)し、植物公園の業務に大きく貢献している(表3)。



写真19 植物園の友の会クラフトコーナー (5月4日)

『秋のグリーンフェア』においては、昨年に続き記念撮影コーナーの設置・飾り付けを大橋ハンギングバスケットマスターと共に担当し、G.F.運営に大きく貢献した。

年間6回以上管理ボランティア活動に参加している会員に管理ボランティア登録証を発行し、登録証提示により、駐車料免除等の特典を付帯している。平成28年度4月時点で16名が管理

ボランティアとして登録されたが、途中入会された会員で「管理ボランティアに参加するため入会された」新入会員に対し、運営委員から「年次途中でも顕著な活動から管理ボランティア証を認定・発行してもらいたい」旨の申し出があり、運営委員会・事務局で協議・了承し、6月28日に発行した。平成28年度は計17名の登録となった。

(6) 会誌の発行 (表2)

在庫が膨らんでいたバックナンバーを出品謝礼と共に展示会共催団体の方に出品謝礼と共に渡してきた。平成25年度から植物公園の予算に組み込まれ独立採算制を打ち切ったことから、単価を引き下げるため印刷部数を多く発注することを中止し、会員数と関係機関への分譲部数



写真20 山草部会ロビー展 (5月7・8日)

を鑑み、300部印刷することとし、関係団体、新入会員へ分譲し、在庫も最小限と考えられたことから、出品謝礼への添付を中止した。

2015年秋通巻第144号より執筆を担当する友の会会員からの希望で「植物公園 Now」に限っては写真を大きくまたは多く掲載すべく余白を最小限として印刷してきたが、2016年春通巻第146号から全頁の余白を同様に狭くすることとし、編集を大きく変更した。

(7) 部会

友の会部会活動は現在山草部会の一部会のみである。

山草部会は、年2回の野外観察会や5月の例会に併せて開催する展示資料館ロビー展示と9月の植物友の会作品展の2展示会、2ヶ月に1回友の会例会前の午前中に部会例会を開いている。また、部会員が栽培・育成した苗物の交換も行っている。5月のロビー展示期間の2日間は、入口に臨時売店を設け、販売も行った。部会活動は事務局の運営下ではなく自主的に運営されている。

(8) 友の会花壇

(5)にて先述したように、平成25年度から管理ボランティアは友の会花壇管理を主の活動内容としているが、今年度は秋に茂った花壇の刈り込み・整備に留まった。

表 平成28年度管理ボランティア活動記録 (平成28年4月～12月)

活動月	活動内容	人数
4月	友の会花壇管理、クラフト準備、野鳥/チョウ観察・撮影、ハナショウブ管理、アジサイ管理、花さんぽ下見・講師、サクラソウ展補助	60
5月	みどりの日クラフト教室、花さんぽ下見・講師、アジサイ管理	36
6月	ハンギングバスケット制作、ハナショウブ管理、花さんぽ下見・講師、クラフト、書類発送作業	35
7月	クラフト、アジサイ管理、ペゴニア温室補助、花さんぽ下見・講師	31
8月	クラフト、アジサイ管理、花さんぽ下見・講師、グリーンフェア会議	32
9月	管理ボランティア、アジサイ管理、講習会「竹製プランター」試作、花さんぽ下見・講師、グリーンフェア写真撮影コーナー設営、書類発送	37
10月	チョウ観察・撮影、花さんぽ下見・講師、アジサイ管理、グリーンフェア写真撮影スポット設営・クラフト講習・片づけ、書類発送、クラフト講習、ペゴニア温室周り除草	39
11月	開園記念日クラフト講習、花さんぽ下見・講師、第2回講習会準備(切り出し)、「クリスマス飾るフラワー展」飾付	40
12月	「クリスマス飾るフラワー展」取材対応、友の会花壇管理、花さんぽ下見・講師 ほか	15

平成 28 年度植物友の会 事業報告

1 行事の開催

月 日	事務事業	場 所	内 容		備 考
平成 28 年 4 月 1 日 (金)	会員証・講習会 ①案内外送付 例会①等の案内 発送	園芸相談室	花さんぽ①案内・会員証配布 前会員で未加入の方へ再通知送付 管理ボランティア証配布 例会① 視察会①参加者募集 〆切 講習会①参加募集 〆切 運営委員会開催案内		職員 1 名
4 月 12 日 (火) 11 時～12 時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ (桜もいけど春の花めぐり)		講師 藤井かおり会員 (チーム花さんぽ) 会員 13 名
4 月 23 日 (土) 11 時～12 時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ (春の花ざんまいツツジ、シャクナゲ、 桜草)		講師 藤井かおり会員 (チーム花さんぽ) 会員 10 名
5 月 4 日 (水・祝)	講習会ボラン ティア	大温室前広場	みどりの日 記念行事	クラフト教室、活動紹介	会員 6 名
5 月 6 日 (金) 9 時～12 時	山草部会 展示準備	展示資料館 ロビー	山草部会展示物搬入		職員 1 名 部会員 6 名
5 月 7 日 (土) ～8 日 (日)	山草部会 ロビー展示	展示資料館 ロビー	山草部会展示		出品者・出品点数 6 名 75 点
5 月 8 日 (日) 13 時 20 分～15 時	例会①	植物公園講堂及 び屋外	園内植物観察 (園路観察コースと健脚コース=いずれも屋外)		職員 1 名 会員 39 名
11 時 30 分～12 時 15 時～16 時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について		職員 2 名 運営委員 5 名
5 月 10 日 (火) 11 時～12 時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ (新緑の尾根道を歩こう)		講師 原田澄子会員 (チーム花さんぽ) 会員 4 名
5 月 28 日 (土) 11 時～12 時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ (ミニハイキング 山あじさいとバラ)		講師 チーム花さんぽ 会員 8 名
5 月 18 日 (水)	事前調査	岡山県真庭市 神庭の滝	旅行業法へ抵触する嫌疑あり →既に募集開始/講師と調整中も中止とする		講師: 広島大学 山口 教授 職員 3 名
5 月 29 日 (日)	視察会②				講師: 広島大学 山口 教授 職員 4 名 会員 22 名
6 月 14 日 (火) 11 時～12 時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ (ハナショウブと初夏の花木めぐり)		講師 原田澄子会員 (チーム花さんぽ) 会員) 12 枚
6 月 25 日 (土) 11 時～12 時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ (ガクアジサイと夏の花木めぐり)		講師 若宮桂子 (チーム花さんぽ) 会員 6
6 月 28 日 (火) 8 時 50 分～11 時	はなの輪 147 号 及び例会②等 の案内発送	植物公園 小会議室	はなの輪第 147 号 例会②・花さんぽ③案内 講習会①②参加募集 植物友の会作品展出品申し込み案内 運営委員会開催案内		職員 1 名 会員 3 名
7 月 10 日 (日) 13 時 20 分～15 時	例会②	植物公園講堂	春の野外視察会 報告 園芸作業及び園内植物観察		職員 3 名 会員 33 名
11 時 30 分～12 時 15 時～16 時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について		職員 1 名 運営委員 5 名
7 月 12 日 (火) 11 時～12 時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ (新緑の尾根道を歩こう)		講師 原田・若宮 (チーム花さんぽ) 会員 6 名
7 月 23 日 (土) 11 時～12 時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ (真夏の花めぐり)		講師 チーム花さんぽ 会員 11 名
8 月 9 日 (火) 11 時～12 時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ (秋の山野草と尾根道散策)		講師 藤井かおり (チーム花さんぽ) 会員 9 名
8 月 23 日 (火) 9 時～15 時	講習会①	植物公園講堂	アジサイ アナベルで作った ドライフラワーボール制作		講師: 藤井かおり会員 会員 12 名
8 月 27 日 (土) 11 時～12 時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ (気軽に森林浴)		講師 藤井かおり (チーム花さんぽ) 会員 7 名

9月1日(木) 8時40分～10時40分	はなの輪148号 及び例会③等 の案内発送	植物公園 小会議室	はなの輪第148号 例会③・花さんぽ④案内 観察会②参加者募集 運営委員会開催案内	職員 1名 会員 3名
9月13日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ミニハイキング 秋の花めぐり)	講師 藤井かおり (チーム花さんぽ) 会員 11名
9月16日(金)	展示会準備	展示資料館	植物友の会作品展出品作品搬入	職員 1名 会員 10名
9月17日(土) ～25日(日)	展示会	展示資料館	植物友の会作品展	出品者・出品点数 23名 247点
9月24日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(めずらし、おもしろ植物発掘さんぽ)	講師 原田澄子 (チーム花さんぽ) 会員 7名
9月25日(日) 13時20分～15時	例会③	植物公園 講堂	秋の園芸作業と園内観察会	職員 3名 会員 26名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について	職員 2名 運営委員 4名
10月1日(土)～ 2日(日)	講習会 ボランティア	大温室前広場	秋のグリーンフェア 友の会コーナークラフト制作指導	会員 5名 会員 6名
10月11日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ミニハイキング どんぐり拾い)	講師 若宮桂子 (チーム花さんぽ) 会員 10名
10月22日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(紅葉のはじまりと晩秋の花めぐり)	講師 藤井かおり (チーム花さんぽ) 会員 5名
10月 日()	事前調査	岡山県真庭市 神庭の滝(仮)		講師: 広島大学 中坪 教授 職員
10月23日(日)(仮)	観察会②			職員 会員
11月1日(火) 8時50分～11時07分	はなの輪149号 及び例会④等 の案内発送	植物公園 小会議室	はなの輪149号 例会④案内 観察会③参加者募集 運営委員会案内	職員 1名 会員 3名
11月3日(木・祝)	講習会 ボランティア	大温室前広場	開園記念日 友の会コーナー クラフト制作指導	会員 7名
11月8日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(野生菊と秋に咲くマンサク)	講師 若宮桂子 (チーム花さんぽ) 会員 12名
11月13日(日) 13時20分～15時	例会④	植物公園講堂及 び屋外	園芸作業及び園内植物観察	職員 3名 会員 27名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園小会議 室	事業の執行について 平成29年度事業計画検討	職員 1名 運営委員 5名
11月17日(木) 10時～15時	観察会③	宮島	特別企画展のコースと異なる紅葉谷公園～博～包ヶ浦 の植物を観察	講師 坪田 博美准教授 会員 19名
11月22日(火)	講習会②	植物公園内	竹製コンテナの寄せ植え	講師 福田・高杉・柴田 (竹の加工) 藤井(植え付け) 会員 8名
11月26日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(紅葉の尾根道を歩こう)	講師 藤井かおり (チーム花さんぽ) 会員 5名
12月13日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ミニハイキング 落葉)	講師 森下時美 (チーム花さんぽ) 会員 9名
12月20日(火)	例会⑤ 案内発送	植物公園 小会議室	例会⑤案内(年賀状) 運営委員会開催案内(FAXほか)	職員 1名
平成29年 1月4日(木)	運営委員会 案内送付	植物公園	運営委員会開催案内(FAX・TELにて)	職員 1名
1月8日(日) 13時20分～15時	例会⑤	植物公園講堂	講演会「植物調査」(案) 冬の園芸作業	職員 3名 会員 24名
11時30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園 小会議室	事業の執行について 平成28年度事業報告 平成29年度事業計画案作成	職員 1名 運営委員 5名
1月10日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(真冬に咲く花めぐり)	講師 若宮桂子 (チーム花さんぽ) 会員 12名

1月28日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(早春の尾根道を歩こう)	講師 原田澄子 (チーム花さんぽ) 会員 9名
2月14日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(春一番を見に行こう)	講師 森下時美 会員 8名
2月23日(火) 9時～	はなの輪第142号 及び例会⑥等の 案内発送	植物公園小会議 室	はなの輪第150号 例会⑥案内 総会開催案内 運営委員会開催案内	職員 1名 会員 3名
2月25日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(春らんまんさんぽ)	講師 藤井かおり 会員 11名
3月13日(日) 13時20分～15時 9時～10時	例会⑥	植物公園講堂及 び屋外	総会 春の園芸作業及び園内植物観察	職員 3名 会員 34名
	運営員会	小会議室	総会・第6回例会の進め方	職員 3名 運営委員 5名
3月14日(火) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(春のミニハイキング)	講師 若宮桂子 会員 7名
3月25日(土) 11時～12時	花さんぽ	植物公園内	季節の花さんぽ(ミズバショウを見に行こう)	講師 チーム花さんぽ 会員

2 会誌「はなの輪」の発行

平成28年6月	2016通巻147号(夏号)	平成28年8月	2016通巻148号(秋号)
平成28年10月	2016通巻149号(冬号)	平成29年2月	2017通巻150号(春号)